（様式1）

平成２４年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

（整理番号） 008	**提案機関名**	農業振興課

要望問題名

茶園土壌における放射性セシウムの対策技術の開発と経済的損失の推計

要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】

福島第一原発事故に起因すると考えられる放射性セシウムが、足柄茶産地の茶葉から暫定規制値を上回って検出された。

茶樹や土壌における放射性セシウムの動態に関する知見はほとんどないが、刈り捨てた枝葉を土壌中に埋却することが指導されているため、枝葉中の放射性セシウムの環境中への移行・拡散を低減する技術の開発をお願いしたい。

また、損害賠償を進める際には、出荷停止や除染によって生じる経済的損失を出しておく必要があるため、被爆に伴う経済的損失の定量評価をお願いしたい。

解決希望年限	①1年以内　②2～3年以内　③4～5年以内　④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター　②畜産技術所　③水産技術センター ④自然環境保全センター
備　考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	**担当部所**	北相地区事務所研究課 経営情報研究部

対応区分	①実施　②実施中　③継続検討　④実施済　⑤調査指導対応　⑥現地対応　⑦実施不可

試験研究課題名 （①、②、④の場合）

1．茶園における放射性セシウムの動態解明と対策技術の開発

(2)茶園土壌における放射性セシウム対策技術の開発と経済的損失の推定

対応の内容等

研究内容として、以下の課題を実施しています。

① ほ場内における土壌中の放射性セシウム含量の分布

② 茶園土壌の放射性セシウム吸着技術の確立

③ 被ばくに伴う経済的損失の推定

これらの結果から、茶園土壌中の放射セシウムの樹体や環境中への拡散を効果的に低減できる技術を開発するとともに、出荷停止や低減化作業等に伴い生じる経済的損失を明らかにします。

解決予定年限	①1年以内　②2～3年以内　③4～5年以内　④5～10年以内
備　考	